



坂下みなみ

子ども達の学びについて

大切なのは一歩進むこと

子ども達は、競争に勝つのが大好きです。授業中、われ先に手をあげて答えを発表しようがんばります。前向きな競争心は大切ですが、実はマイナス面も大きいのです。

それは、子どもによって学ぶスピードや手順、こだわりが違うからです。競争では、速く答える子が生かされる結果となり、じっくり考えることができなくなります。これでは、深く理解することができません。例を挙げると、

$371 \times 10 = 3710$ という計算です。速い子は「0をつければいいんだ。」と発言します。競争的な学びでは、これで終わりです。「どうして、0をつけるの?」と引っかかっている子や分からない子は、競争に負けたような気持ちになって黙ってしまいます。この時の教室は、

- ① 予習していて答えがすぐに出せる子 (先に学んでいる子)
- ② 答えが出せる子の話を聞いて、すぐにやり方が分かる子 (すぐ飲み込める子)
- ③ どうして?と止まっている子 (深く考えようとする子)
- ④ みんなの考えが理解できない子 (学びがゆっくりな子)

に、別れています。学びを深めるチャンスを持っている子は、③の子です。もし③の子が「どうしてそうなの?」と言い出したら、①②の子の多くが「???'です。一見答えを出すのには必要のないこだわりが、深く考えるきっかけを作り、分かっているつもりだった①の子はより深い理解をし ②の子は原理を理解しながら学び ③の子は、自分の引っかかりを解消し ④の子は、みんなの話を聞いているうちに分かってきます。

これを「学び合い」と言います。大切なのは、友だちとつながりながら、自分のスタート地点から自分なりの一歩を進めることです。算数では、計算力だけでなく、自分で考えて納得しながら学ぶ力、友だちと関わり合いながら学ぶ力、互いの個性を大切にしながら学ぶ力が育ちます。勉強だけでは身に付けられない、生きる力が育つのです。算数ができる子は、自分の知識が友だちの役に立ち、友だちの個性が自分を伸ばしてくれる経験を積みます。算数が苦手な子は、友だちの助けで分かる経験を通して、友だちとつながる素晴らしさを学びます。こだわりのある子は、自分のこだわりはブレーキではなく、友だちの学びを深めるスイッチになった経験を積み、自信をつけます。



学校では、一人一人の学びの個性を大切にしながら、対話的で深い学びのある授業を目指しています。子ども達には、自分なりの分かり方を大切にしてほしいと考えています。

2月の主な予定

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 6日(木) スキー教室(1・3・5年・特支)
※2・4・6年給食あり | 18日(火) 新入生保護者説明会 |
| 11日(火) 建国記念の日 | 23日(日) 天皇誕生日 |
| 12日(水) 全校集会 中学校進学説明会 | 24日(月) 振替休日 |
| 13日(木) 集金日 | 27日(木) 特別時程 13:50 下校 給食あり 学年末事務整理 |
| 17日(月) 少年消防クラブ満了式(4~6年) | 28日(金) 特別時程 13:50 下校 給食あり 学年末事務整理 |

※ 予定は、やむを得ず変更する場合がございます。変更が生じた場合は、関係のご家庭にできるだけ速やかにご連絡申し上げます。